

令和4年度事業報告書概要（有明客船ターミナル外1施設）

指定管理者：東京港埠頭株式会社

1 管理状況
○ 適切な管理の履行
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人員配置 「人員配置計画」に基づき人員を配置。</li><li>・ 人材育成の取組 情報セキュリティ研修、コンプライアンス研修、人材育成研修などにも参加し、OJTを実施した。また、上級救命技能認定証も取得している。</li><li>・ 施設の使用許可 新型コロナウイルス感染防止に対して注意喚起しながら、客船ターミナル施設等の管理運営基準に基づき、審査内容を審査し適正に許可を行った。</li><li>・ 施設の維持補修・修繕 事業費を調整し、緊急対応等経費として確保されている予算を上回る額を東京都と協議の上で執行し、ターミナルの維持管理を実施した。</li></ul>
○ 安全性の確保
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 防災・防犯への配慮 毎月実施している安全衛生委員会による施設パトロールを実施。第三者の観点から点検したことで、階段下の突起やタイル目地の劣化を発見・改善し、事故を未然に防止した。</li><li>・ 緊急時対策・事故防止 警備による毎日の点検及びスタッフによる自主チェック並びに専門業者（委託設備業者）によるチェックを実施している。点検の際は、巡回点検チェックシートをもとに、改善状況の確認や不具合箇所の早期発見、事故防止及び施設保全に努めた。</li><li>・ 事故への対応<ul style="list-style-type: none"><li>①緊急時アクションマニュアル、救急ファイルの確認等</li><li>②上級救命技能認定者の配置等（令和4年度 東京消防庁より受講優良者の認定）</li><li>③AEDなどの救急用品・器具の点検等</li></ul></li></ul>
○ 法令等の遵守
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 個人情報保護・情報公開の取組 社内規程に基づき処理。</li><li>・ 各種法令等の順守 行政代行者としての必要な法令順守につながる研修等を受講。</li><li>・ 情報事故への対応 ネットワークシステムのクラウド化で情報セキュリティ対策を強化しているほか、社内規程等に基づき適正に処理。</li></ul>

## 2 事業効果

### ○ 事業の取組

#### ・ 自主事業の企画、実施、成果

水辺の魅力発信と乗船意欲の向上に寄与するため東京港見学会を開催し、有明客船ターミナルでは給水船や清掃船事業の紹介・デモンストレーションを実施した。

#### ・ 利用者サービス向上に向けた取組

新規にストリートビューを導入し、現地に出向かなくとも館内の様子が確認でき、利用者から好評を得ている。

利用者目線で点字ブロックやウォシュレット（館内全てのトイレ全19第）の設置を行った。

また、季節感を創出する空間装飾を設置したほか、新規にクリスマスツリーや門松を設置するとともに、SNSで情報発信を行った。

### ○ 利用の状況

乗降客数 7,004名

撮影合計 48件

### ○ 利用者の反応

#### ・ アンケートの実施状況

東京港見学会において49組107名に配布、43組から回答。参加者からのアンケート結果では、高い評価を得た。

### ○ 行政目的の達成

#### ・ 都及び関係機関等との連携

東京都主催のイベントや国土交通省主催の防災訓練に協力した。各事業の実施にあたり、主催者と調整の上、現地に受付や棧橋への誘導案内看板を設置して利用状況を確認した。

#### ・ 都の実施策への協力（新型コロナウイルス関係を除く）

電力不足HTT広報ポスター、Jアラート警報等のポスター掲示したほか、電力ひっ迫の影響や対応策の策定と節電を実施した。

#### ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組

ポンプ式消毒液4基に加え、非接触型ディスペンサーの消毒液を新規に1基増設しタッチレスを促進した。

また、嘔吐物処理キットについて、関係者で嘔吐物処理訓練を実施し、合わせて防護服の整備も行った。

3 収支状況（単位：千円）

項目		金額（税込）
収 入	指定管理料	93,149
支 出	管理運営費	83,223
収支差		9,926